

活水のサポート

就職課

内定の喜びを分かち合う瞬間、夢の実現に向けて。



「おはようございます。」「こんにちは。」就職課の一日は学生との挨拶から始まります。

意識の高い1年生の顔もそこにあります。そして、「内定しました。」という言葉が聞こえた瞬間、就職課内から拍手がおこります。就職活動の軌跡が頭をよぎり、心から、祝福と労いの思いで皆、胸が熱くなります。

学生の就職活動は、会社説明会、エントリーシート提出、

WEB試験、筆記試験、グループ面接、グループディスカッション、個人面接など、多岐にわたっています。この流れを何度も繰り返し、時には打たれながらも、そこから立ち上がっての内定です。特に、エントリーシートに苦戦することは言うまでもありません。学生が行き詰った時の相談窓口が就職課です。「相談に来てよかった。」この言葉も就職課員にとってこの上ない喜びです。

エントリーシートが通過すると、次は面接。もちろん、面接練習も希望者全員に行います。このような『ふれあい』があるからこそ、内定の喜びをわかちあうことができるのです。

また、内定した学生が同級生や後輩にアドバイスしている光景があちこちで見かけられるのも活水女子大学の大きな特色です。

「頑張れ！」この応援の言葉はときには重く、時には励みとなり、学生たちは前に進んでいきます。「夢」は自らが動いて初めて実現できるものです。受験生の皆さん、あなたの「夢」に向かって、私たちと就職活動とともにしてみませんか？

教職支援室

特化したプログラムで、教師になる「夢」をサポート。



教師になる夢をサポートしたい！ そんな思いで、教職支援室をつくりました。教職支援室をのぞくと、いつも誰かが机に向かって勉強しています。なかには、朝から教職支援室にやってきて勉強し、時間が来たら「いってきま〜す」と講義に行き、また戻っては教員採用試験に向けた勉強をしている学生もいます。

活水女子大学では、中学・高校の教員免許状（英語・

国語・音楽・家庭）、栄養教諭、養護教諭、そして小学校（神戸親和女子大学との提携による）の教員免許状を取得することができます。教師になりたいと思った動機は、人それぞれですが、教師になりたい！という気持ちはひとつです。仲間がいれば、がんばれる！

教職支援室では、日頃の授業だけなら出会うことなかった、仲間・先輩・後輩との出会いがあります。

また、サポートしてくれる先生は、教職支援室に常駐し、いつでも疑問に答えてくれます。文字通り叱咤激励しつつ、力になってくれます。教員採用試験に合格していった卒業生たちからも絶大な信頼がある先生です。教職支援室は、教採対策講座や教員採用模試、長期休暇中の学習会、学校ボランティア活動のサポートなど、教師になる夢をサポートしています。



就職のアドバイス



企業情報の収集



面接指導の場面



教職支援室で各自勉強中



夏期8時間学習会終了!



教職講演会

